

平成30年度 授業改善推進プラン 大田区立馬込中学校

「経年比較」に用いるデータの変更について

授業改善プランでは、同一学年の「経年比較」を大切にしています。

授業改善を実施した結果、学力がどう推移したかを見ることで、改善の方策が妥当であったか判断するためです。

馬込中学校では、今年度より、「経年比較」に用いるデータを変更することにしました。

昨年度まで、「経年比較」では「**目標値との差**(=学年の**平均点**)」を用いていましたが、今年度より「**達成率**(=目標を**達成した生徒の割合**)」を用います。

東京都教育委員会の「学力・学習状況調査結果分析」では、平均点ではなく、達成率の上昇が重要であるとされています。

学力向上に熱心に取り組む中学生が多くいる一方、学習に意欲を持ってない中学生も少なくないという、「二極分化」の傾向が課題となっているからです。

馬込中学校でも、学力の二極分化を起こさないよう、1人でも多くの生徒が意欲的に学習に取り組めるよう、授業改善に努めます。

大田区では、「経年比較」以外では具体的な数値を記載しませんので、達成率自体については「非常に高い」「高い」「やや高い」「やや低い」「低い」「非常に低い」の6段階で記述します。

目標値については「大きく上回っている」「上回っている」「少し上回っている」「少し下回っている」「下回っている」「大きく下回っている」の6段階で記述しています。

国語科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・漢字の小テストを継続して実施したことで、漢字の読み書きが定着してきた。
- ・感想や要旨のまとめを継続して行うことで、書くことへの抵抗が薄れ昨年度よりも自分の意見を書くことができるようになった。

(2) 課題

- ・書くことへの抵抗は薄れたが、構成を考えて書くことに課題が残る。
- ・段落毎の読解は向上したが、文章全体の把握が課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	やや高い。		
第2学年	やや高い。昨年度から6.6%減少している。	高い。	
第3学年	やや高い。昨年度から5%上昇している。	やや高い。昨年度から2%上昇している。	やや高い。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識・理解
目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を少し上回っている。

② 第2学年

関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識・理解
目標値を大きく上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を少し上回っている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識・理解
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を少し上回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識・理解
身近な例を提示することで関心を高めたい。	話の内容の要旨を捉えて聞くために、メモをとりながら聞く姿勢を身に付けさせる。	3段落構成の文章を書くことに課題があるので小作文を実施するなど書くことを継続する。	前後の文脈を把握して内容を捉えることに課題が見えるので、重点的に指導を行う。	小学校までの漢字を書くことに課題があるので、基礎の反復学習を行う。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識・理解
良好であり、今後も継続できるよう取り組む。	良好であり、今後も継続できるよう取り組む。	作文はおおむね良好である。記述問題において5W1Hがわかるように書く練習を行う。	文章の構成を理解するため、文章全体から内容を把握して読解することを重点化する。	文節と単語の理解の定着を図る。漢字を書くことに課題があるので引き続き小テストを実施する。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識・理解
良好であり、今後も継続できるよう取り組む。	昨年度よりも内容を正確に聞き取ることが不十分なので、メモをとりながら聞く姿勢を身に付けさせる。	作文はおおむね良好である。文章の推敲に課題があるので、書いたものを見直す作業時間を確保する。	段落ごとの関係ではなく文章全体から内容を把握して読解することを重点化する。	漢字を読むことに課題があるので、教科書以外の文章を提示する。

数学科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・全観点で目標値を上回ることができた。
- ・昨年度、技能においての理解度の向上を課題として挙げたが、目標値に反映することができた。

(2) 課題

- ・第1学年は「百分率」、「平面図形」に課題がある。
- ・第3学年は「思考・判断力を問う問題」に課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	平成 30 年度結果	平成 29 年度結果	平成 28 年度結果
第1学年	やや高い。		
第2学年	非常に高い。昨年度から 24.6%上昇した。	やや高い。	
第3学年	やや高い。昨年度から 9.1%上昇した。	やや高い。昨年度から 0.8%減少した。	やや高い。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を少し上回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
良好である。今後も ICT などを活用した導入の工夫を続けていく。	3学年時の領域を横断した複合問題に課題が出る恐れがあるため、良質な問題提供を心掛ける。	効果的な問題演習を提供し、効率的な技能の習得に努める。	数学的定義をはっきりと理解させる。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
良好である。今後も ICT などを活用した導入の工夫を続けていく。	3学年時の領域を横断した複合問題に課題が出る恐れがあるため、良質な問題提供を心掛ける。	良好である。これからも定期的な単元テストなど取り組んでいく。	良好である。これからも数学的表現の定義の定着に努めていく。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
発展的問題に取り組もうとする意欲を高める。	領域を横断する複合問題についての思考が不十分である。良質な問題・課題を提供し、試行する機会を与える。	良好である。これからも定期的な単元テストなど取り組んでいく。	数学的に表されたものが何を意味するのかの理解が不十分である。基本的・本質的な知識を定着させる。

英語科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・生徒が積極的に活動しやすい環境作りに努めながら、学習形態を工夫し、関心意欲を高めることができた。
- ・自らのことを表現する活動を豊富に取り入れ、ペアワークやグループ活動を通して、表現の能力を高めることができた。
- ・スペリングコンテストや単語の小テストを実施し、基礎的な知識を身につけさせることができた。

(2) 課題

- ・授業中の小テスト等を活用して基礎的な知識を定着させ、それを応用する表現力に繋げる。
- ・基礎的な知識を活用し、英作文や発表といった自ら表現する活動を取り入れ、さらなる応用力を養う。
- ・まとまった英文を読み、その内容を理解する力を培うために、音読練習やワークシートを活用し、定着を図る。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第2学年	非常に高い。	実施していない。	
第3学年	高い。昨年度から10.6% 上昇した。	やや高い。	

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

4月実施のため、1年英語は実施していない。

② 第2学年

関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が見られる。さらに関心意欲を高められるようにペアワークやグループ活動を取り入れる。	自己表現能力を高めるために、書く活動や発表する場面を多く取り入れる。	繋がりを意識して、意味を理解しながら音読でできるように練習を行う。	基礎的知識の定着を図るために、単語の意味を考えながら、音読練習を行う。単語の発音と意味の一致を目標とする。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
良好である。	既習事項を活用して、自らの考えを書き発表する機会を増やしていく。	まとまりのある英文を理解する力を高めるために、内容に対し英語での質疑応答を行う。またペアやグループ活動など工夫をしながら音読練習を行う。	単語や基本表現の反復練習を行い、基礎的知識の定着を図る。各単元の終わりには単元テストを行う。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
良好である。 より関心意欲を高められるようにペアワークやグループ活動を取り入れる。	まとまりのある英文を読み、それに対する自分の考えを表現し、発表する機会を増やして、自己表現力を高める。	ペアやグループ活動など工夫をしながら音読練習を行う。 プリント等を活用しながら内容理解に努める。	中学英語の総まとめとして基礎基本の定着を徹底する。単語や基本表現の反復練習を行う。

社会科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICTを活用し、視覚的・聴覚的教材を工夫して、関心意欲を高めることができたが、地図やグラフの読み取り、複数資料の活用に課題がある。
- ・歴史では文化や政治についての正答率が上がり、流れをつかむ部分で成果が見えた。
- ・範囲の中から出題する小テストを実施し、成果が出た生徒が増えてきた。

(2) 課題

- ・小テストに関しては、1・2年生の積み重ねが重要であるので、継続した実施を行う。
- ・世界の諸地域や日本のついでに産業、貿易について理解や読み取る力に課題が見えたので、図やグラフ・写真などの資料を使って定着を図る
- ・歴史においても資料を読み取る力とそれを表現する力を磨くことが必要であり、授業内で積極的に資料提示をしていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	やや高い。		
第2学年	非常に高い。昨年度から6.6%上昇した。	高い。	
第3学年	やや低い。昨年度から9%減少した。	やや高い。昨年度から6.2%上昇した。	やや低い。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し下回っている。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し下回っている。	目標値を少し下回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
資料を読み解く部分に課題が見られたので、授業中に課題解決学習を取り入れる回数を増やす。写真、電子黒板への投影を活用する。	資料を読み取り、それを示し、考え、表現する活動を多く取り入れる。	歴史・地理両方とも複数の資料を活用し、習得した知識と結びつけられるような問題を授業内で出題する。	語句の意味や位置の理解に課題が見られたので、家庭学習を通じて定着を図る。前時復習テストを取り入れる

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
良好である。引き続き電子黒板を活用し、導入を工夫していく。	良好であるが、対話的な活動があまり実践できていなかったため、今後実践していく。	良好である。引き続き資料を使った活動をしていく。	良好である。小テストの回数を増やして、さらなる定着を目指す。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値は上回っているため概ね良好である。ほぼ毎回実施していた小テストが要因と考えられるので、継続していく。	目標値は上回っているため概ね良好である。歴史分野では対話的な学習が少なかったため、公民分野では回数を増やしていく。	資料を読み取る活動を増やし、自分でまとめる力を養う。グループで考えを共有する活動を増やしていく。	基礎的・基本的な知識が不足している。引き続き小テストなどを行い、定着を図る。

理科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・復習テストなどを行うことにより、2年生は経年比較で少しずつポイントが上昇したが、3年生は、復習的な課題に対する取り組みが不十分でその成果が表れなかった。
- ・1年生には夏休みに実験教室を行い、生物分野ではできるだけ生きた教材を用いて、興味・関心・意欲を高めるよう工夫した。2, 3年生に対しては夏休みに質問教室を行い、知識の定着をはかった。

(2) 課題

- ・3年生では特に動物のからだや細胞など知識としておぼえなくてはならないことの達成率が低かったので、3年生の内容と関連付けながら、再確認を行うようにする。
- ・2年生は、全体的に昨年度より達成率が上昇した。これからの中学校の理科学習で、より学習意欲・理解力を高められるようIT機器なども活用しながら、授業の内容や教材の工夫を行う。
- ・1年生は、これからの中学校の理科学習で、より学習意欲・理解力を高められるようICT機器なども活用しながら、授業の内容や教材の工夫を行う。
- ・各学年とも教える内容を日常生活に関連させながら、理科を身近なものとしてとらえさせ、主体的に学習しつつ、より興味・関心を深めさせられるよう授業を進める。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	やや高い。		
第2学年	やや高い。昨年度から9.8%上昇した。	やや低い。	
第3学年	やや低い。昨年度から5%減少した。	やや低い。昨年度から3.3%減少した。	やや低い。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し下回っている。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を少し上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を少し上回っている。	目標値を少し上回っている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を下回っている。	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・実験の内容や教材を工夫したり、ICT機器を活用して、身近な自然現象に関する話題を題材にするなどして中学校の理科の学習への興味・関心を高める。	・科学的な見方や考え方を養うことができるよう考える時間を大切にす る。 ・レポートの書き方などにも慣れさせる。	・基本的な器具の使い方や実験の操作を繰り返したりしながら、技能の定着を図る。 ・実験に集中させ、安全面にも気を配るよう指導を行う。	・ノートの取り方や、まとめ方などを教え、慣れさせる。 ・学習の方法や覚えるポイントなどがわかるよう指導する。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・実験の教材を工夫したり、動物や天気といった身近なことを題材として、ICT機器も活用しながら、中学校の理科の学習への興味・関心を高める。	・科学的な見方や考え方を養うことができるよう互いに教え合い説明することで、表現力や説明力を養う。	・実験に集中してとりくませ、正しく正確な結果をだせるような実験技能を習得させる。 ・考えながら実験を行う姿勢を身につけさせる。	・小テストなどを行い、繰り返し学習する機会を増やし、基本的事項の定着を図る。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・ICT機器を活用したり、身近な話題を題材にするなどして学習への興味関心を高める。 ・3年の内容と関連づけながら、1、2年の内容をふりかえらせ、学習への意欲を高める。	・思考を刺激するような発問を工夫し、考えさせる時間を多くとれるようにして、結果がなぜそうになったかなどの説明ができるようにする。	・基本的な器具の使い方や実験の操作の再確認を行い、正しく正確に実験を行うことを定着させる。 ・考えながら集中して実験を行う姿勢を定着させ、結果を考察に結びつけられるようにする。	・3年の学習の内容と関連させながら、1、2年の内容も振り返りながら指導を行う。 ・小テストなどを行い、繰り返し学習する機会を多くすることで、基本的事項の定着を図る。

音楽科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

・授業に対する関心・意欲・態度が良好である。

(2) 課題

・表現の創意工夫に関しては、理解したことを演奏に組み入れることが課題である。

・表現の技能に関しては、より豊かな表現力を身につけることが課題である。

2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
どの課題も落ち着いて、よく取り組んでいる。特に歌唱活動に対しての興味・関心は、器楽・鑑賞活動より高い。	楽曲内容を知識として理解しているが、それを演奏で表現することはまだ十分でない。	楽曲を正確に演奏しようとしているが、豊かに表現するまでには至っていない。	その曲に対する知識・理解は全体的に高い。ワークシート記入などの活動により成果が表れている。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
どの課題も落ち着いて、よく取り組んでいる。特に歌唱活動に対しての興味・関心は、器楽・鑑賞活動より高い。	楽曲内容を知識として理解しているが、それを演奏で表現することはまだ十分でない。	楽曲を正確に演奏しようとしているが、豊かに表現するまでには至っていない。	その曲に対する知識・理解は全体的に高い。ワークシート記入などの活動により成果が表れている。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
どの課題も落ち着いて、よく取り組んでいる。特に歌唱活動に対しての興味・関心は、器楽・鑑賞活動より高い。	楽曲内容を知識として理解しているが、それを演奏で表現することはまだ十分でない。	楽曲を正確に演奏しようとしているが、豊かに表現するまでには至っていない。	その曲に対する知識・理解は全体的に高い。ワークシート記入などの活動により成果が表れている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容と目標を明確に伝える。 ・校歌をはじめとして、既習曲などで発声練習を行う。 	歌詞の内容や記号を繰り返していねいに説明し、理解させる。	多様な練習方法を取り入れ、わかりやすく具体的に説明し、見本を示しながら指導する。	多様な現代の楽曲を総合的な芸術と関連付け、映像でも鑑賞させる。それにより何を感じ、感じたことをどう表現するかを考えさせる。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容と目標を明確に伝える。 ・校歌をはじめとして、既習曲などで発声練習を行う。 	歌詞の内容や記号を繰り返していねいに説明し、理解させる。	多様な練習方法を取り入れ、わかりやすく具体的に説明し、見本を示しながら指導する。	多様な現代の楽曲を総合的な芸術と関連付け、映像でも鑑賞させる。それにより何を感じ、感じたことをどう表現するかを考えさせる。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容と目標を明確に伝える。 ・校歌をはじめとして、既習曲などで発声練習を行う。 	歌詞の内容や記号を繰り返していねいに説明し、理解させる。	多様な練習方法を取り入れ、わかりやすく具体的に説明し、見本を示しながら指導する。	多様な現代の楽曲を総合的な芸術と関連付け、映像でも鑑賞させる。それにより何を感じ、感じたことをどう表現するかを考えさせる。

美術科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・作品のよさを、言語活動を通して伝える力が向上した。
- ・一生懸命に取り組んだことで基礎的な技能を修得できた。
- ・美術を愛好する心情がより強くなった。

(2) 課題

- ・意欲的に取り組む姿勢を全体に定着させる。
- ・豊かに発想する力を伸ばす。
- ・興味を引く資料やワークシートで意欲を高める。

2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
課題を理解して、真面目に取り組む姿勢が備わっている。自由になり過ぎないように指導する。	発想や構想を自由に楽しみ、意欲的な生徒が多い。	基礎的な技能に関しての説明をよく聞き、すぐに創作活動の中で実行している。	学習した内容をその場で理解している生徒が多いが、定着する過程で個人差が出ている。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
課題を理解し真面目に取り組む姿勢が備わっている。より自由に楽しく取り組むことが課題である。	発想や構想を練る際に思い悩むことが多く、様々な表現を試す意欲に欠けるところがある。	基礎的な技能に関しての説明をよく聞き、すぐに創作活動の中で実行している。	学習した内容をその場で理解している生徒が多いが、定着する過程で個人差が出ている。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
意欲的に取り組める生徒と、取り組めない生徒の差がある。課題を理解し、興味を引かせて達成感を味わわせていく。	課題を理解し、発想力に差がある。	落ち着いて取り組めているかどうかで技能にも差が出ている。	学習意欲全般に繋がっている学習習慣の違いにもよる。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
達成感や楽しさを味わえるように、作品へ働きかけたことによる変化や、良さに気づかせる。	発想を膨らませる手立てや、アイデアのもとになるような資料の提示をしていく。	修得した基礎的な技能を継続して正しく使えるよう、定期的な確認や声かけをし、最後まで丁寧に取り組ませる	身近なものに結びつけたり、画像を提示したりして、興味を持たせることで定着を図る。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
達成感や楽しさを味わえるように、作品へ働きかけたことによる変化や、良さに気づかせる。	発想を膨らませる手立てや、アイデアのもとになるような資料の提示をしていく。	修得した基礎的な技能を継続して正しく使えるよう、定期的な確認や声かけをしていく。	身近なものに結びつけたり、画像を提示したりして、興味を持たせることで定着を図る。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
達せできる目標を示して、意欲を高めさせる。	参考作品などからヒントを与え、手がかりをもたせる。	正しい使い方によって生じる成果を示し、丁寧な作業を促す。	ワークシートの活用など、わかりやすい資料を提示する。

保健体育科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・自己の課題を見つけ、目標を持って意欲的に授業に取り組ませた結果、技能の向上が見られた。
- ・授業規律を徹底させ、規範意識を持ち行動することができる生徒が多くみられた。

(2) 課題

- ・実践を通して、基礎・基本技能を習得させることを目標とし、更なる技能向上に努力する。
- ・自己の健康についての意識を高め、健康などのニュースに関心を持たせる。

2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
集合が早く、意欲的に学習に取り組む生徒が多くみられる。健康・安全に留意し、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。	自己の技能を認識し、課題解決に向けて、練習方法を工夫することができる。規範意識をもった行動が実践できている生徒が多くみられる。	基本技能を習得し、課題解決に向けて、授業に取り組むことができる。運動能力に差はあるが、仲間同士でコミュニケーションを図り、教え合うことができる。	生涯にわたり健康な生活を送るため、運動に親しむために必要な知識を学習し、定着してきてはいるが、定着度に差が見られる。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
集合が早く、意欲的に授業に取り組む生徒が多くみられる。また話を聞く態度や積極的に質問する姿勢も良い。	授業や日常生活において、規範意識を持ち行動できている生徒が多い。安全に留意し、適切な行動をとることができる。	運動能力はあまり高くないが、継続して取り組むことで、技能向上に努めている。	生涯にわたり健康な生活を送るために必要な知識を学習しているが、満足のいくところまでは達していない。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
準備運動や補強運動に意識をもって取り組むことができる。説明を聞く態度や積極的に質問をする生徒が多くみられる。	自己の目標を設定し、適切かつ安全な行動をとることができる。規範意識が身につけていない生徒が一部見られる。	自己の技能を認識し、技能向上に努めることができる。目標を高く設定し、継続的に取り組み、仲間同士で教え合うことができる。	生涯にわたり健康な生活を送るために必要な知識を学習しているが、定着度に差が見られる。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自己の技能・体力を理解させ、自己の課題を見つけ、自主的・主体的に学習に取り組ませる。互いに助け合い教え合おうとすることが、継続して行えるようにする。	種目に応じて、自己の課題を認識し、課題解決に向けて、練習方法を設定し実行する力を身に付けさせる。健康・安全に留意し授業を行うことができる力を身に付けさせる。	基本技能を定着させ、技能を細かく分析し、練習のポイント、目的を明確に理解できるようにする。仲間とコミュニケーションを図り、教え合い、学び合うことができるようにする。	自己の健康についての意識を高め、健康に関するニュースに関心を持たせる。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自己の技能・体力を理解させ、自己の課題を見つけ、学習に取り組ませる。健康・安全に留意し、運動の楽しさや喜びを味あわせる。	規範意識を高め、個人生活で実践させる。健康・安全について、課題の解決を目指し、考え、判断できるようにさせる。	基本技能を習得することを第一の目標とし、継続的に取り組ませる。仲間同士で教え合い、学び合うことができるようにさせる。	自己の健康についての意識を高め、健康に関するニュースに関心を持たせる。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自己の技能・能力を理解させ、自己の課題を見つけ、学習に取り組ませる。授業を受ける姿勢や態度の徹底化を図る。	自己の目標に応じた練習方法を考え、実行することができるようにさせる。規範意識を高め、授業や学校生活において実践できるようにさせる。	実践を通して、基本的な技能を身に付け、ステップアップを目指す。仲間同士でコミュニケーションを図り、教え合うことができるようにさせる。	自己の健康についての意識を高め、健康に関するニュースに関心を持たせる。

技術・家庭科

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・技術・家庭科へ強い関心をもち意欲的に活動することができている。
- ・生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能はおおむね身に付けている。

(2) 課題

- ・身近な技術や生活について、自らの意見をまとめ、表現することにやや課題が見られる。
- ・意欲的に活動し、生活に必要な基礎的・基本的な技能はおおむね身につけているが、適切な道具使い方や周囲への配慮など安全面でやや配慮にかけることがあり、身につけさせたい課題である。

2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業に取り組む姿勢や教科に関する関心はおおむね満足できる。	学んだことを生かして自分の考えを表現することが苦手である。	道具や材料の特性を理解し、安全に使用することができている。	基礎的・基本的な知識の定着はおおむね満足できる。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
教科に対する関心は高いが、授業への取り組み方や姿勢でやや課題が見られる。	自分の意見を表現することはできているが、学んだことを生かした表現が苦手である。	適切な道具の使い方や周囲への配慮など安全面で配慮に欠けることがある。道具や材料の特性を理解しないで作業をすところに課題が残る。	基礎的・基本的な知識の定着が十分ではない。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業に取り組む姿勢や、教科に対する関心はおおむね満足できる。	学んだ知識をもとに自らの考えを表現することができている。	道具や材料の特性を理解しながら作業ができているが、安全な作業という点では課題が残る。	基礎的・基本的な知識の定着は十分に満足できる。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
生徒が自ら進んで学びを深められるような授業を展開する。	活発に表現する姿勢はさらに伸ばす指導を行う。自らの意見をまとめ、記述や発表などで表現する機会を多く取り入れる。	適切な難易度の課題を導入し、より高い加工技術の習得を目指す。	機器や機材を効果的に活用する。基礎的・基本的な内容を重視し、丁寧に重点事項を説明する。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業規律の徹底を図り、より学びを深められる環境作りに努める。その中で生徒の自主的な活動を促す指導を行う。	活発に表現する姿勢はさらに伸ばす指導を行う。学んだことを活用する機会を積極的に作り、制約条件がある表現活動を多く取り入れる。	安全への意識を重点的に指導し、道具の特性を理解しつつ安全に使用する力を養う。	機器や教材を効果的に活用する。とくに基礎的・基本的な内容を重視し、丁寧に重点項目を説明する。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
生徒が自ら進んで学びを深められるような授業を展開する。	近年の社会問題を問題提起し、技術と経済・環境との関係から自らの意見をまとめ、記述や発表などで表現する機会を取り入れる。	道具や材料の特性の理解することが技能の向上に直結することを体験的に学ぶことができる課題を導入する。	機器や教材を効果的に活用する。とくに基礎的・基本的な内容を重視し、丁寧に重点項目を説明する。